

仙台市連合町内会長会

(略称)
市連長会

▼正副会長会

市連長会の運営について会長、副会長、庶務理事及び会計理事が八月と十二月を除く毎月定例で、協議を行いました。

協議の主なものは ○町内会の運営に関する事 ○市広報誌及び配布・回覧文書等の削減 ○ホームページの開設 ○まちづくりや市民生活等に関する共催・後援 ○安全・安心なまちづくりの推進及び町内会活性化などです。

また、ごみ収集等についても、市当局との協議を行いました。

▼総会

平成十八年五月三十一日、「パレスへいあん」において、平成十八年度総会を開催しました。

第一回は五月十八日、第二回は十一月二十八日に開催しました。第一回の役員会では「町内会・自治会の組織運営等調査検討部会の設置」など、総会に諮る議案について協議しました。

第二回の役員会では、「十八年度前期事業報告及び収支決算見込み」などについて協議しました。

統いて議事に入り、三瓶典夫太白区富沢地区町内会連合会長を選出して審議が行われ、平成十八年に選出する議長に選出されました。

また、本会の町内会調査検討部会の検討テーマなどについて活発な意見交換が行われました。



5月31日 パレスへいあんにおいて

▼役員会



5月31日 会員研修会



第一回は五月十八日、第二回は十一月二十八日に開催しました。第一回の役員会では「町内会・自治会の組織運営等調査検討部会の設置」など、総会に諮る議案について協議しました。

質疑応答も活発に行われ、最後のまなざしを意識した組織体制④女性の確立することなどのお話をありました。

町内会の新たな復興に向けてキーワードとして、①地域にありながら地域にとらわれない②遊び心を中心とした活動③排除より包摂を大切にする組織体制④女性のまなざしを意識した組織文化を確立することなどのお話をありました。

特に、「振り込め詐欺に騙されない、ひたくりや空き巣・強盗に遭わないためには、普段から家族みんなで話し合いや窓のカギをかけることが大事である。」との

特に、「藤孝義氏」を講師に「仙台市における防犯対策について」と題して役員研修会を開催しました。

講師が代表を務める東北都市社会学研究会が、平成十七年二月に実施した「仙台市町内会・自治会問題」を題して、東北大学大学院教育の吉原直樹氏を講師に招いて、会員研修会を開催しました。

五月三十一日、総会終了後「転換期における町内会の状況と課題」と題して、東北大学大学院教育の吉原直樹氏を講師に招いて、会員研修会を開催しました。

五月三十一日、総会終了後「転換期における町内会の状況と課題」と題して、東北大学大学院教育の吉原直樹氏を講師に招いて、会員研修会を開催しました。

今まで熱心にメモを取るなど、大変有意義な研修会となりました。

▼役員研修会

いま、老人が狙われている

—地下鉄東西線事業—

十一月二十八日役員会終了後、仙台市企画市民局市民生活部参事の後藤孝義氏を講師に「仙台市における防犯対策について」と題して役員研修会を開催しました。

多くの市民が待ち望んでいた東西線の本体工事がいよいよスター

トしました。

仙台市連合町内会長会も多く支援団体とともに、早期着工に向けた推進活動を展開してきました。

南北線と一体となつた骨格交通軸の整備は、沿線地域を始め仙台市の魅力的なまちづくりに大変期待されています。

一日も早い開通を待ち望んでおり



11月28日 役員研修会・秋保



2月5日 待望の本体工事着工

▼本体工事いよいよ着工

お話をがありました。
声がけを、向こう3軒隣り！

「仙台ナンバー」実現 好調スタート！

町内会の皆様にも署名活動のご協力を頂いた「仙台ナンバー」が昨年10月10日から導入されました。

仙台市の都市イメージの向上や観光振興の効果が期待され、また、市民意識の向上など皆さんの地元への愛着も、高まるものと期待されております。

ご協力に感謝申し上げます。



五月十二日、大嶋青葉区長ほかを来賓に迎え、青葉区役所で開催しました。

平成十七年度の事業報告・収支決算報告、平成十八年度の事業計画案・収支予算案について原案どおり承認されました。

六月二十四日、新任町内会長十四名のうち六十七名の参加を得て青葉区役所で開催しました。

当協議会で作成した「町内会活動の手引き」を参考に、町内会の役割や町内会に関する諸制度について研修しました。

△連合町内会長移動研修会
十月二十五日、作並において、株東北地域環境研究室代表の志賀秀一氏を講師に迎え「仙山交流について」をテーマに、仙山交流の活性化について研修しました。

△青葉区民まつりへの参加
十一月三日に開催された区民まつりの連合町内会出演ステージで、中山地区が舞踊、通町地区がレクリエーションダンスを披露しました。

五月十二日、大嶋青葉区長ほかを来賓に迎え、青葉区役所で開催されました。

平成十七年度の事業報告・収支決算報告、平成十八年度の事業計画案・収支予算案について原案どおり承認されました。

六月二十四日、新任町内会長十四名のうち六十七名の参加を得て青葉区役所で開催しました。

当協議会で作成した「町内会活動の手引き」を参考に、町内会の役割や町内会に関する諸制度について研修しました。

△連合町内会長移動研修会
十月二十五日、作並において、株東北地域環境研究室代表の志賀秀一氏を講師に迎え「仙山交流について」をテーマに、仙山交流の活性化について研修しました。

△青葉区民まつりへの参加
十一月三日に開催された区民まつりの連合町内会出演ステージで、中山地区が舞踊、通町地区がレクリエーションダンスを披露しました。

五月十二日、大嶋青葉区長ほかを来賓に迎え、青葉区役所で開催されました。

平成十七年度の事業報告・収支決算報告、平成十八年度の事業計画案・収支予算案について原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会
六月二十四日、新任町内会長百四名のうち六十七名の参加を得て青葉区役所で開催しました。

当協議会で作成した「町内会活動の手引き」を参考に、町内会の役割や町内会に関する諸制度について研修しました。

△連合町内会長移動研修会
十月二十五日、作並において、株東北地域環境研究室代表の志賀秀一氏を講師に迎え「仙山交流について」をテーマに、仙山交流の活性化について研修しました。

△新任町内会長研修会
六月二十四日、新任町内会長百四名のうち六十七名の参加を得て青葉区役所で開催しました。

当協議会で作成した「町内会活動の手引き」を参考に、町内会の役割や町内会に関する諸制度について研修しました。

△連合町内会長移動研修会
十月二十五日、作並において、株東北地域環境研究室代表の志賀秀一氏を講師に迎え「仙山交流について」をテーマに、仙山交流の活性化について研修しました。

△青葉区民まつりへの参加
十一月三日に開催された区民まつりの連合町内会出演ステージで、中山地区が舞踊、通町地区がレクリエーションダンスを披露しました。

平成十八年度活動状況

△総会

五月十二日、大嶋青葉区長ほか

を来賓に迎え、青葉区役所で開催されました。

平成十七年度の事業報告・収支決算報告、平成十八年度の事業計画案・収支予算案について原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会
六月二十四日、新任町内会長百四名のうち六十七名の参加を得て青葉区役所で開催しました。

当協議会で作成した「町内会活動の手引き」を参考に、町内会の役割や町内会に関する諸制度について研修しました。

△連合町内会長移動研修会
十月二十五日、作並において、株東北地域環境研究室代表の志賀秀一氏を講師に迎え「仙山交流について」をテーマに、仙山交流の活性化について研修しました。

△青葉区民まつりへの参加
十一月三日に開催された区民まつりの連合町内会出演ステージで、中山地区が舞踊、通町地区がレクリエーションダンスを披露しました。

△町内会会員研修会

十二月四日、エルパーク仙台に

おいて、仙台市消費生活センターの鈴木所長を講師に迎え「架空請求の被害防止について」をテーマに、問題商法の対応方法などについて研修しました。

△中山学区連合町内会

事業の特色としては、住民相互の親睦と交流を促進するため実施している「学区民親睦大運動会」

は今年で三十七回目となり、「中山とびの子まつり」も三十二回目となりました。総合防災訓練については今年初めて実施した夜間訓練は、停電を想定し発電機運転による照明を頼りに簡易トイレの組立てなどの訓練を行いました。

地域の環境美化と青少年の情操教育の一環としては「中山さくらの会」を組織し、地域内十一个所の公園への植樹を開始しました。

この様な中山地域の発展過程を記述し、後世に伝えるため「中山とびの子まつり「子供みこし」

△落合栗生地区連合町内会

平穏な美しい街をめざして

会長 庄子 幸一

落合栗生地区は仙台市の西部に位置し、南に蕃山の峰々、北に広瀬川、町内の真ん中を斎藤川が流れる自然豊かな地区です。

また、町内を二つの国道とJR仙山線が通り、車と電車が利用できる交通の便利な地区でもあります。

連合町内会は平成六年に発足し、単位町内会数は九町内会、会員数は約二千四百世帯です。現在地区の西部の宅地造成により、年々住宅が増えつつありますが、従来からの会員と転居されてきた会員が、お互いのよさを吸収し、うまく融合して新しい街づくりが進んでおります。

活動の主なものは運動会、球技大会ですが、美しい街づくりのため、斎藤川の清掃活動を続けています。川では魚が泳ぎ、親子連れで泳ぐ水鳥の姿は住民の心を癒

の事業団体として防犯協会、防火協会、社会福祉協議会、体育振興会、衛生連絡会、子ども会育成会を組織し、地域に密着した活動を展開しております。現在十五町内会、四千六百五十世帯、人口約一万五千人となり、事業団体も仙台北地区交通安全協会中山支部を加えた七团体で各種の事業に取り組んでいるところです。

事業の特色としては、住民相互の親睦と交流を促進するため実施している「学区民親睦大運動会」は今年で三十七回目となり、「中山とびの子まつり」も三十二回目となりました。総合防災訓練については今年初めて実施した夜間訓練は、停電を想定し発電機運転による照明を頼りに簡易トイレの組立てなどの訓練を行いました。

地域の環境美化と青少年の情操教育の一環としては「中山さくらの会」を組織し、地域内十一个所の公園への植樹を開始しました。

この様な中山地域の発展過程を記述し、後世に伝えるため「中山とびの子まつり「子供みこし」



学区民大運動会



とびの子まつり「子供みこし」

地区平成風土記」を編集し昨年発行することができました。これらを通じて地域をさらに深く理解して頂き、安全で安心のできる元気な街づくりに更に努力していくたいと思います。

特徴的な活動として、栗生小学校「栗っこネットワーク」活動があります。この活動は地域福祉の向上、子どもたちの健全育成と、安全・安心な環境をつくることを目標にしております。栗っこネットワークの会長は各町内会長が持ち回りで務めています。

活動は地区の大通りに、ラベンダーの樽植えを設置したり、「サイカチクリーンウォーク」でサイカチ沼周辺のゴミ拾いを実施しています。また、最近の社会的不安から、子どもたちの安全を守るために、日常生活の中での子どもへの気くばり、目くばり、声かけを呼びかけています。地域には安全・安心のための巡回活動を続けている団体が九団体ありますが、お互いの情報交換と横の連絡を図るため「栗っこ防犯連絡会」を立ち上げ、警察や防犯協会の助言や協力を得ながら平穏な街づくりに努めております。

宮城野区連合町内会長協議会

平成十八年度活動状況

△総会

四月十四日、沼田宮城野区長を来賓として迎え開催し、平成十七年度事業報告・収支決算報告並びに平成十八年度事業計画案、収支予算案、欠員に伴う役員選任を協議し、原案どおり承認されました。

△青葉まつりへの参加

五月二十一日、第二十二回仙台内会代表の小中高校生を中心とした武者隊が、初夏を思わせる天気の中、堂々の行進を行いました。

△新任町内会長研修会

六月二十八日、新任会長（五十五名中二十九名が参加）を対象に開催しました。

当日は、廃棄物管理課職員を講師に「仙台市のごみ収集について」の講演を行い、その後、当協議会が作成した「町内会活動のガイド」を使って町内会の役割や補助・助成制度について説明を行いました。

最後には、町内会運営の諸問題などについて、区連協役員との意見交換を行いました。

△移動研修会

会員の見聞を広めかつ親睦を図ることを目的に、八月二十九・三十日の両日、山形県天童市で研修を実施し、町内会長同士活発な情報交換を行いました。

△ホームページの立ち上げ

八月下旬、宮城野区ホームページ内に「町内会活動のガイド」を掲載しました。

△みやぎの・まつり

仙台港中央公園での前夜祭としての花火大会には、当協議会も賛成とともに、十月十五日の当日は榴岡公園において秋晴れの下、区連合町内会より三団体が参加し、まつりを大いに盛り上げました。

《宮城野地区 町内会連合会》

「陰」と「陽」



盆踊り大会

五町内会、約五、七〇〇世帯で構成されています。当地区には、昔、清水田という地名がありました。広大な田園地帯が連なり、遠く東方を眺めると岡田地区の賀茂神社が一直線上にボソリと見えました。小さな水路が沢山ありました。が、どの水路を見ても魚が住んでいます。気配はなく、水清くして魚住まずでした。

隣接地には、卸商団地の開発が進み、やがて完成しましたが「人は住まず」の団地でした。これから先の日本を考えた時、どうなるのかなと、思っている一人です。

日本の食糧事情は輸入に依存しており、急速な自由化の進展と高齢化に伴い離農が進み、もはや就農者は英雄的存在となりました。戦後は核家族化が進み、土地も高騰し、住宅の面積が往時の半分であっても楽しい我が家であり、親から子に伝える勲章と云っていいでしょう。

私は東仙台地域は、東北本線以北に位置し、町内会数は十一、約三、五〇〇世帯、人口は約八、一〇〇名となっており、江戸時代、松原街道に沿って開拓と窯業が盛んに行われ、珍しい地名がたくさんありました。

中でも処刑場があつた天還前、その靈を弔う念佛壇、この地の住民の案内で政宗が岩切城を攻め勝利した案内、追櫓職場（狩場）がなまつて御立場などがあります。これも昭和五十五年の住居表示で、東仙台一丁目から七丁目となりましたが、一部町内会名にその名を付けて残しています。

行政への協力は、連携プレーであります。

しかし、環境の変化に伴い、周囲には死角が多く生じ、近隣とのお付き合いが少なくなったのも、犯罪多発の要因かなと思います。安全・安心の街づくりが標題とすれば、地域の小さな目標、小さなエネルギーを結集してこそ、最大の効果が得られるものと思います。

尊重・敬愛・信頼を念頭に、地域の一員として生きて行きたいと願っています。そう、今年度から始まった高齢者の介護予防ケア事業」の活動風景です。



楽々クラブ

今どこの町内会でも、高齢化と地震対策に頭を悩めていますが、昨年度、区から「東仙台地区高齢者介護予防ケア事業」に協力を求められたのが発端で、現在、松原、中原の各集会所、及びコミセンの三ヶ所でボランティア三〇人、受講者八〇人が毎月一回、健康づくりに励んでいます。

中でも、ボランティアスタッフの研究心が素晴らしい、「継続は力」をモットーに高齢者の笑顔をバネに活動しており、貯金運動の有効性も実証されつつあります。

このように、行政が町内会に提供するサービスが町内会の意向と一致したとき、よく言われる、下請け的感覚はなくなります。

若林区連合町内会長協議会

平成十八年度活動状況

△総会

四月二十六日、坪田若林区長を来賓として迎え、若林区役所六階ホールを開催。平成十七年度事業報告、決算報告、平成十八年度事業計画案、予算案が原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会

七月六日、新たに町内会長になられた方を対象に開催し、四十五名中二十三名が参加。「町内会活動の手引き」を活用し、主に町内会に関係する諸制度の研修と区連協理事との町内会運営上の意見交換等を行い有意義なものとなりました。

△町内会長移動研修会

九月八日、七十七名の参加のもと、一関市・奥州市を訪問。一関博物館と牛の博物館を見学しました。

△若林区選出の

市議・県議との懇談会
十月二十三日、若林警察署設置促進など若林区における諸課題について懇談し、活発な意見交換が行われ、大変有意義なものとなりました。



平成18年11月8日

南小泉北部連合町内会合同講演会

防災訓練で連合結束

木ノ下町内会会長 高橋みさを

仙台駅東方約四キロメートルに位置する当連合町内会は、現在、九町内会で編成され、国指定重要文化財陸奥国分寺薬師堂、県指定物がある歴史の町であります。

連合町内会の地域の一部が、火災危険区域に指定されていることなどの関係もあり、相当以前より地元消防団・婦人防火クラブなどを中心に、恒例の文化財防火デーに伴う防火訓練や合同防災訓練を行いました。

△町内会長移動研修会

九月八日、七十七名の参加のもと、一関市・奥州市を訪問。一関博物館と牛の博物館を見学しました。

△若林区選出の

市議・県議との懇談会
十月二十三日、若林警察署設置促進など若林区における諸課題について懇談し、活発な意見交換が行われ、大変有意義なものとなりました。

『南小泉北部連合町内会』

連合町内会

△総会

四月二十六日、坪田若林区長を来賓として迎え、若林区役所六階ホールを開催。平成十七年度事業報告、決算報告、平成十八年度事業計画案、予算案が原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会

七月六日、新たに町内会長になられた方を対象に開催し、四十五名中二十三名が参加。「町内会活動の手引き」を活用し、主に町内会に関係する諸制度の研修と区連協理事との町内会運営上の意見交換等を行い有意義なものとなりました。

△町内会長移動研修会

九月八日、七十七名の参加のもと、一関市・奥州市を訪問。一関博物館と牛の博物館を見学しました。

△若林区選出の

市議・県議との懇談会
十月二十三日、若林警察署設置促進など若林区における諸課題について懇談し、活発な意見交換が行われ、大変有意義なものとなりました。

行うなど、防火・防災には特に気配っております。
命を知り、防災の町づくりを始めたのは、昭和五十三年の宮城県沖地震後でした。仙台市が防災都市宣言と共に、防災対策室を設置し各消防署を通じて、呼びかけ指導により、町内会の自主防災組織結成への気運が一挙に高まりました。

防災アドバイザーを講師に迎え、誰にでも分かり易い有意義な講演をいただき、受講者一同が「助け合い……」ということが、いかに大切かを学びました。

『七郷地区町内会連合会』

起ち上がろう・いま七郷の時期

会長 大場 光昭

た。

昭和五十八年七郷市民センター落成と同時に、市民まつりを開催し、現在で二十三回を数え、二日間の延べ入場者数が、三万人を数えるまでに、発展いたしました。

大勢の人出で賑わった七郷市民まつりの屋台広場

以来、合同防災訓練を明るい時間帯を選び、十三年ほど続けた後「災害は昼間だけ起きるわけではない」ということから、夜間訓練に変更実施してみましたが、これまで時間的に参加できなかつた勤め人や、小・中・高校生が参加するなど、思わぬ成果があり、何事も実行するべきだと思いました。

その後、夜・昼と回をかね、二十年余も続いております。
しかし、最近、木ノ下町内会では、高齢化が進み、今までの訓練の方では、参加できない人たちが多くなってきたため、町内を小さく区割りし、区割り毎にリーダーを中心に、一人暮らしや身体の不自由な方の情報を日頃より把握しておき、いざ、災害の発生時には、避難所まで隣近所、少人数で助け合いながら避難する、より実践的な訓練に変更しました。

このことを、連合町内会の訓練方法とし「足並みをそろえて灾害に備えましょう」と、消防署よりその七郷が、荒井土地区画整理事業の実施とあいまって、こんにち九千三百余戸、人口二万四千を超える大所帯に発展しました。

当然求められるのは、古くからこの地で育った農家の人たちと、新しくこの地に生活の場を求めた都市生活者との共生であります。

また、市民センターの講座に、「すすめおどり教室」を設け、各町内会から資金援助を行い、お囃子を含めて六十八人の踊り手を育成し、青葉まつりでは見事入賞いたしました。

いま、地下鉄東西線の着工により、七郷には六丁の目と、終点の荒井に駅の建設が始まります。

ここは、百年の大計が必要であると、二十六の町内会長鳩首協議の結果「新しい七郷を創る基本構想推進機構」を立ち上げました。

七郷の連合会には、武士の後裔が多く、固い団結と結びつきがあ

り、それが何よりの宝です。

太白区連合町内会長協議会

平成十八年度活動状況

△総会

四月十三日、佐藤太白区長を来賓に迎え開催。十七年度事業報告・収支決算報告、十八年度事業計画案・収支予算案の議案を協議し、原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会

七月四日、太白区役所五階ホールで、新任の町内会長五十一名の参加を得て、町内会活動を進めるうえでの、手続きや制度についての研修と情報交換を実施しました。

△まつりへの参加・協力

五月二十一日に開催された青葉まつりに、町内会長・小学校児童で太白武者隊を編成し参加しました。

△移動研修会

十月二十四日・二十五日山形県鶴岡市と鶴岡市町内会連合会を訪問し、地域防災協力の可能性と町内会運営の情報交換を実施しました。

《茂庭台学区町内会連合会》 地域住民が参加できる夏祭り

当連合会は、設立十六年になり



夏祭り

出店等も地域の皆さんのが手作りで

は、絵画、書、生け花、俳句、パッチワーカー、ステンドグラス、お茶席など日頃の成果を展示、広場ではフリーマーケット、献血車、交通安全協会による安全運転の指導、犬と仲良くなろうのコーナー、などがありました。芸芸部門では、大正琴の演奏、交通安全寸劇、詩吟、日本舞踊、子供達を加えたすめ踊り、バンド演奏の熱演が披露され、地域の皆さんの芸術性の高さ、文化への関心が強く感じられる文化祭でした。

毎年、開催される地域防災訓練は、六月二十五日（日）に町内会連合会自主防災組織を中心に茂庭台小学校で実施しました。仙台市立看護専門学校の一年生の生徒、仙台天使園、ありのまま舎、茂庭台豊齋ホーム、特別養護老人ホーム茂庭苑、各福祉施設、各町内会の皆さんの参加協力を頂き、消火訓練、パケツリレー消火訓練、ハシゴ車の救助訓練、日本赤十字社宮城県支部のご指導による応急救護訓練、アルファ米の炊き出し訓練などを実施し八百名の参加がありました。

茂庭台市民文化祭
今年で第十七回を迎えた市民文化祭は茂庭台市民センターとの共催で九月三十日、十月一日の二日間に開催されました。展示部門に

《八木山地区連合町内会》 地下鉄東西線を中心とした会長 斎藤 満男

地域住民の親睦と連帯ならびに交流を図るために、町内会・小学校・子供会の参加で開催しています。

八木山学区民運動会

ふるさとづくりと子供たちの想い出づくりを念頭に企画しています。

夏祭り盆踊り大会

八木山市民センター祭り

市民センター祭り

八木山市民センターを地域の中心として、二日間にわたり、地域の団体・有志によるイベントを開催しました。

連合町内会の目標

地域の自治活動の基本団体である町内会が、相互の連携のもとに「住みよく安全な八木山地域づくり」を目指し、地域生活環境の整備と住民の参加を求めて、地域に取組み、地域住民の親睦と交流により、快適でやすらぎのある地域づくりに邁進しています。



八木山市民センター祭り

泉区連合町内会長協議会

平成十八年度活動状況

△総会

五月十二日、佐藤区長ほかを来賓に迎え開催。平成十七年度事業報告・収支決算報告、平成十八年度事業計画案・収支予算案が原案どおり承認されました。

△新任単位町内会長研修会

六月十四日開催。当協議会作成の「町内会活動の手引き」をもとに各種届出・助成制度などについて研修。続いて将監町内会自治会連絡協議会の樋口稔夫会長を講師に個人情報の取扱い等町内会活動について研修しました。

△町内会役員研修会

六月十四日開催。東北福祉大学ボランティアセンター長の小松洋吉氏を講師に迎え「地震災害に備える!地域の力で災害を減らす」をテーマに研修しました。

△単位町内会長研修会

九月三日・四日作並にて開催。泉区役所障害高齢課長の遠藤寛氏を講師に介護保険制度について研修しました。

△区選出の市議・県議との懇談会

九月十四日開催。議員の方々から市政・県政にかかる話題提供を行いました。

いただき意見交換を行いました。

△連合町内会長研修会

十一月九日・十日盛岡市を訪問。盛岡市町内会連合会の役員の方々と町内会活動や課題への取組などについて意見交換を行いました。

《泉中央連合町内会》 相応しいまちづくり

会長 菅原 篤郎

私たちの連合町内会の区域は泉区の中央部に位置しており、行政機関では泉区役所や泉警察署、交通機関では泉中央駅が設置されており、区内での重要な拠点ともなっています。

また、仙台市民の愛するサッカーベガルタの本拠地があり、仙台市の顔の一部をも担い試合開催日には市民結集の場ともなっています。

また、仙台市民の愛するサッカーベガルタの本拠地があり、仙台市の顔の一部をも担い試合開催日には市民結集の場ともなっています。

特に高齢者の生きがい対策に重点をおくため、原則として六十五歳以上を対象としていますが、年齢制限なしの会もあります。

講話、器楽演奏、ゲームなどに加え、お茶を飲みながらのおしゃべりを楽しんでもらっています。

住民が交流する「ふれあいサロン」



泉中央美化活動

《長命ケ丘三丁目西町内会》

「楽しみに応える」組織に

会長 馬場 道

が、開発が進んでいく中で世帯数、人口が急速に増加し、旧七北田町内会は三町内会に分割し、新しく開発された二町内会と市名坂町内会の計六町内会で運営しております。

次に、連合町内会の取り組みを紹介いたします。

初めに、地域の児童、生徒の安全な通学の確保であります。今般、児童、生徒に危害を加える事件が各地で続発しております。私どもは民生委員と協力し、通学時間帯に通学路の安全見張り行動に取り組んでまいりました。この活動は、学校のPTA組織にも波及し、現在では、ともに児童、生徒の安全確保に努めています。

その一つは「ふれあいサロン」の開催です。

当町内会ではおおむね一ヶ月おきに開き、同じ町内に住んでいたがら、日ごろの付き合いが希薄な人たちの交流の場として活用してもらっています。

特に高齢者の生きがい対策に重点をおくため、原則として六十五歳以上を対象としていますが、年齢制限なしの会もあります。

講話、器楽演奏、ゲームなどに加え、お茶を飲みながらのおしゃべりを楽しんでもらっています。

昔の「隣近所のお茶のみ」に相当

また、今年度は美化活動の一環として、歩行者専用道路に草花の植栽を行って、泉区の中央部に相応しい地域環境づくりに努めています。これからも居住者の住みやすい地域環境づくりに努めてまいります。

役員と班長は月例の会議で町内の動きをある程度知ることができます。気負った言い方になりますが、会報にはそんな役割も期待しています。

A4判一ページまたは二ページの簡単なものが、行事のカラーリングや季節感を取り入れた巻頭言なども配し、親しみやすいものにするよう努めています。

これら二つの例は、住民同士の付き合いが少ないといながら、実は人々の間に「孤独と情報過疎からの脱却」という切実な願いがあるということを示していると思います。そしてこのことは、現在の地域が取り組むべき最も緊要な課題であろうと考えます。



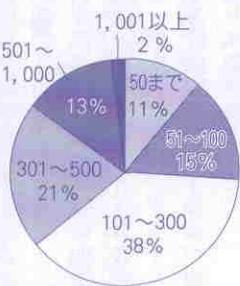
「組織・運営のあり方について」の検討部会を設置しました。

町内会・自治会の組織運営等調査検討部会

部会長 我妻泰平
副会長 星鷺尾栄一郎
委員会 妻泰平

単位町内会の規模(加入世帯)

50まで	149
51~100	213
101~300	522
301~500	285
501~1,000	177
1,001以上	32
合 計	1,378



ホームページを開設しました

—仙台市連合町内会長会—

昨年9月1日インターネット上に開設しました。

本会の活動状況や町内会活動に関する情報など掲載しております。

また、仙台市や各区連合町内会長協議会のページにもリンクしており、今後、内容の充実を図りたいと考えております。

皆様からのご意見や町内会活動の情報などお待ちしております。

アドレス

<http://www.sendai-sirentyukai.com/>

現在、仙台市内には単位町内会が、一、三七八(うち連合会未加入五二)あり、組織の規模は最大二、三七〇世帯から最小は数世帯まで様々(平均二八八世帯)となっています。

いま、核家族化や少子高齢化の進展、生活の多様化等社会情勢の変化に伴って、地域における近隣関係の希薄化がみられるなどコミュニケーションのあり方が問われております。

一方、昨今の治安の悪化や地震の発生・台風の来襲、環境問題など一人ひとりの力では解決できない分野も増えており、町内会の重要性が改めて見直されてきております。このような状況において、五月共通する課題等を調査する検討部会を七月に設置しました。

検討部会の委員は、町内会を代表して各区から選任された連合町内会長七名で構成されております。



1月30日 第4回検討部会

仙台市連合町内会長会役員名簿

(平成十九年三月現在)

広報委員名簿	
委員長	佐々木
太田	我妻
田藤	佐々木
満洲夫	留雄
泉	太白区
泉	若林区
区名	青葉区
北村	伊藤
木村	大木
榮	豊
一男	剛
泉	太白区

監事	星茂	佐々木	星茂	早坂光男	武田光男	星茂
北伊大菅奥我三齊斎後安瀧那畠大友永山富康正一郎	伊藤木原山妻瓶藤藤住谷須次信昭行三郎	大木原山妻瓶藤藤住谷須次信昭行三郎	佐々木原山妻瓶藤藤住谷須次信昭行三郎	星茂	佐々木原山妻瓶藤藤住谷須次信昭行三郎	早坂光男
藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤
一郎	喜一郎	喜一郎	喜一郎	喜一郎	喜一郎	喜一郎
泉	太白区	太白区	太白区	太白区	太白区	太白区

仙台市の自治組織	全市計
区長	111連合会
連合会数	36連合会
町内会の数	13連合会
加入世帯数	9連合会
総世帯数	23連合会
加入率	30連合会
	1,378
	(1,327)
	396,844
	(391,984)
	443,262
	89.5%

【編集後記】

「市連合町内会だより」第十六号をお届け致します。

本年度は、町内会に関する話題が紙上を賑わし、良い面・弱い面など学ぶことが沢山ありました。今回紹介の町内会・連合会では、地域に即した活動をされているようです。参考にして頂きたい。現在町内会では、多様な問題を抱えております。会では部会を設置し、町内会のあり方について検討することになりました。皆様から建設的なご提言をお待ち致します。

(編集委員長 佐々木正一)

注1 平成18年6月1日現在

2 上段の数字は全ての町内会、()書きは連合町内会に加入している町内会